

父の記録を！

遺骨の調査を！

韓国併合100年の今 韓国人太平洋戦争遺族の声

10月11日（月・休）15時

龍谷大学深草キャンパス21号館101教室

日本が強制的に韓国を併合してから100年。

補償は、「日韓請求権協定で解決済み」と言われますが、果たしてそれでよいのでしょうか？

韓国の強制動員被害者へは日本人と違って、死亡通知すら送られていない人が多くいます。

父の記録すら存在しない遺族の思いを聞くことから、考えましょう。



***** プログラム *****

映像で見る韓国人遺族の運動

韓国人遺族の証言

日本政府要請の報告

国会議員要請の報告

仏教会の取り組み報告

今後の取り組みについて

***** 韓国人遺族の紹介 *****

姜宗豪（カン・ジョンホ）さん 父は43年漁船ごと徴用され、長崎で知人に「軍需物資を南洋群島に運搬する」と言ったきりその後行方不明なので、せめて父の遺骨だけでも返してほしい。

崔洛勛（チェ・ナックン）さん 父は42年動員され日本で労役。帰国の船が遭難して死亡したと推測。唯一、残された証拠である労働現場の訓練所で仲間と撮った写真を頼りに父の消息を探している。

南英珠（ナム・ヨンジュ）さん 父は軍属として42年徴用。記録によると、44年8月ニューギニアのヤカムルで戦死。ようやく2003年に記録を確認することができたが、靖国神社に無断合祀されているが判明。

※ 集会に先立ち、1時より韓国併合100年市民ネットワークの総会が開催されます。

主催：「韓国・朝鮮の遺族とともに全国連絡会」

共催：「韓国併合」100年市民ネットワーク（中田 090-8482-9725）

日本製鉄元徴用工裁判を支援する会（上田 090-2062-5695）

在韓軍人軍属（GUNGUN）裁判を支援する会（古川 090-1135-1488）

賛同募金をお願いします 郵便口座 02740-4-84816 「韓国・朝鮮の遺族とともに全国連絡会」